

鷺巻桜遊歩道公園が完成 お花見に最高、白根名所また一つ

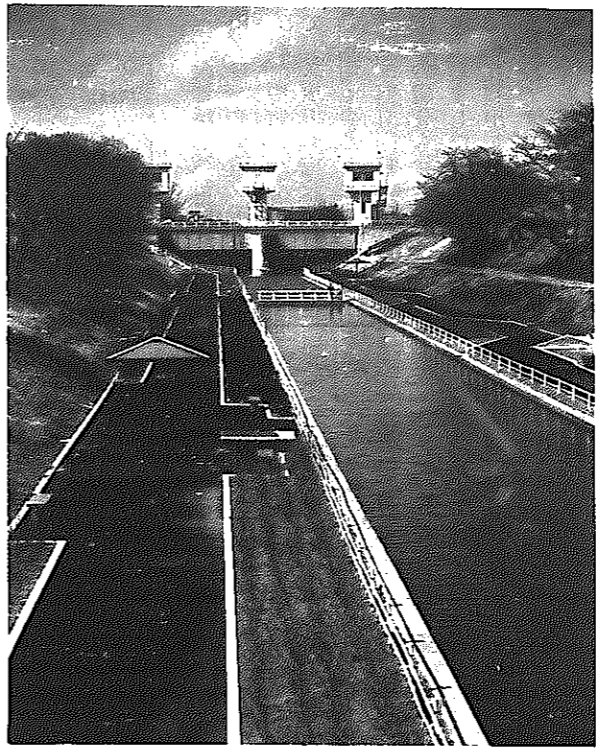
桜の名所として有名な鷺巻の桜遊園内に、ちよつとすてきな遊歩道が完成しました。鷺ノ木水門に続く大通川の兩岸に、三メートル幅の歩道が三百八十三メートルにわたって続きます。

市が通産省の電源地域産業再配置促進費補助事業を受けて建設したもので、総事業費は六千二百九万五千円。昨年夏から着工され、三月六日に完成しました。白根名所がまた一つ誕生です。

歩道わきには、休憩用の日陰棚（シェルター）が四基、半円状の木のサークルベンチが二基、ベンチが十九基整備されました。ツツジやアペリアなどもたくさん植えられています。兩岸を行き来するための浮き橋も二つ設置されました。

毎年お花見シーズンには、市内外からたくさんのお客が訪れているこの公園。これからは桜の季節が去った後で、初夏のツツジも楽しめます。

今年の桜前線が届くのは今月中旬ごろか。お花見が今から楽しみます。



特養老人ホームしなの園 来年4月開所目指し建設始まる

三月三日、特別養護老人ホーム「しなの園」建設工事の安全祈願祭がカルチャーセンターで行われました。

この祈願祭には、施設の運営主体である社会福祉法人「しろね福祉会」や構成自治体の首長、建設業者など関係者が参列。竹内市長も渡辺正直しろね福祉会理事長とともに、力強く鉄入れを行い、工事の安全を祈願しました。

現在、庄瀬地区の建設現場では基礎工事が進められており、六月ごろから建物の姿が確認でき始める予定です。

来年の四月開所までちょうど一年、白根市民が待ち望んだ福祉施設ができます。福祉のことを考えてみる良い機会です。

高規格救急車稼働開始セレモニー 高規格救急車、いよいよ稼働

二月下旬、白根地区消防本部に導入された高規格救急車。試験運転を終え、本格稼働に先立って四月一日、稼働開始セレモニーが同本部で行われました。セレモニーでは通報を受けて高規格救急車が出勤する訓練も実施され、職員たちは機敏な動きで対応していました。

車内には、心電図や血圧などのデータを表示するモニターが装備され、患者の情報は現場から装置を使って白根健生病院に伝送されます。病院側は、備え付けの受信装置で患者のデータを見ながら救急救命士と連絡を取って指示。救



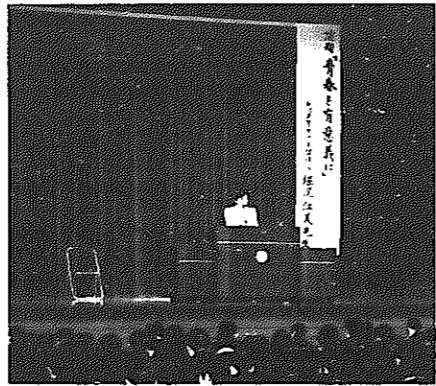
急救命士は、心肺機能停止状態の患者にチューブ挿入による呼吸管理などの救命処置を行うことができます。救命率を上げるには、救



急車が到着するまでの間の応急手当がカギ。同本部では高規格救急車の導入と共に「応急手当の普及にも努めたい」と話していました。

まちの話題

自主的に行動できる力を着けて 白根高校講演会



三月十五日、白根高校で県警少年課指導係長の堀尾江美さんを講師に「青春を有意義に」と題したPTA主催の講演会が開かれました。堀尾さんは県警でヤングテレフォン（青少年の電話相談）を担当。少年非行に関して豊富な経験を持っています。いじめに遭いながらも非行から立ち直った少年のことなどたくさんのお話を挙げて話しました。また、テレクラについて「優しさの中に隠されている牙を認識しないと被害に遭う」と警告。最後に「人生には過酷な試練が何度も訪れるが、自分がどうするか自分で決めてほしい。道は必ず開けます。頑張ってください」と話していました。

「校歌を歌えた」卒業生、喜びの声 白井小学校 校歌発表会

昨年春に開校した白井小学校では、待ちに待った校歌が完成。卒業式を間近に控えた三月六日、同校体育館で発表会が行われ、住民、PTAなどにお披露目されました。

「信濃川に朝日が踊る。豊かな流れ希望はあふれ」と歌い出すこの校歌、作詞は新潟大学教育学部教授の大橋勝男さん、作曲は日本現代音楽協会の黒沢吉徳さんが担当しました。作詞については全校児童が校歌用に書いた作詞集が参考にされました。「子供たちの夢の思いがぎゅっし詰まった校歌です」と金谷校長も喜びひとしおといった様子。

最後に、児童代表の大竹瞳さんが



「この新しい校舎に移っても何か物足りないものがありました。それは校歌です。もうすぐ卒業なので校歌を歌えて安心しました。いつまでもこの校舎から美しい校歌が流れてくることを願います」と喜びを語りました。

ハートに響く土の音色 オカリナコンサート

ミュージアム
オカリナコンサート

しろね大風と歴史の館と同館友の会では、三月三日、オカリナ奏者の池田脩二さんを招いてコンサートを開きました。池田さんは佐和田町出身の陶芸家。日本工芸展で数々の賞を受けるほどの技術を生かし、自分でトキの形をしたオカリナを作っています。作曲・演奏活動を続けています。

「波の音、風の香りを感じていると曲が浮かぶ。それを後輩から採譜してもらおうです」という池田さん。



数種のオカリナを使い分けながら自作の九曲を披露しました。この日のために作った曲「風の祭り」（大風合戦によせて）には友の会のメンバーが掛け声、手拍子で参加。館内を盛り上げました。訪れた女性は「素朴な音色が夜の館にとってもマッチしてすてきでした」と語っていました。

親子で一日 楽しくスケート 白井青少年協

白井地区青少年育成協議会では、二月二十四日、新潟アイズリンクで親子スケート教室を開催。約八十人が参加しました。

冷たい水の上でも子供たちは元気いっぱい。リンク狭しと滑りまわります。転んだ親を助け起こそうとする子供の姿に思わず笑いが。



帰りのバスで楽しみのおやつをいただいた子供たち。疲れが出たのか、ぐっすり眠りこけていました。

●身近な情報をお寄せください（企画財政課広報広聴係 ☎373-2111）